

(様式)

会議等速報

令和2年12月21日

件名	令和2年度第3回鹿児島市障害者自立支援協議会	作成課	福祉部 障害福祉課
日時	令和2年11月27日(金) 10時～11時30分		
場所	鹿児島市教育総合センター3階 青年会館第1～3研修室		
出席者	鹿児島市障害者自立支援協議会委員24名(6名欠席) (学識経験者、医療関係機関、障害者関係団体代表者、公募委員、市職員など)		
市出席者	委員：福祉部長、保健所長、こども未来局次長、教育部長 事務局：障害福祉課、保健支援課、母子保健課、学校教育課		
会次第	1 開会 2 議事 (1) 障害者等実態調査の結果について (2) 障害福祉計画第6期計画・障害児福祉計画第2期計画の素案について (3) パブリックコメントの実施について 3 閉会		
主な意見等	(○：委員、●：事務局) 2(1) 障害者等実態調査の結果について ○ 精神障害の方の回収率が低いため、分析を行い、次回に生かす必要がある。 ⇒● 今後に向けて意見を参考にさせて頂く。 ○ 災害時一番困るのはトイレの問題で、避難所において日常使うストーマ等の装具が無いことは、オストメイトにとって大変なこと。災害時における物資等の供給協力に関する協定の中にストーマ等の装具が入っているか調べてほしい。 ⇒● 担当課へ確認を行い回答する。 ○ 利用者が高齢化したときのサービスをどう変えていくのか、現場では非常に悩んでいる。 ⇒● 介護保険移行時の不便がどれだけあるのかなどについては、今後の項目として検討させて頂く。 2(2) 障害福祉計画第6期計画・障害児福祉計画第2期計画の素案について ○ 国の指針で、1か所以上を確保することとされている地域生活支援拠点だが、市の方針では1か所となっている。1か所であることでの課題もでてきていると思うが、その部分も反映した上で目標数は1か所ということか。 ⇒● 設置か所数などについては課題として捉えており、地域生活支援拠点の専門部会の中で、運用状況等を検証・検討させて頂き、解決できればと考えている。 ○ 一般就労に向けての支援では、支援する側の質の向上は必須と思っており、就労部会の必要性を感じる。 ⇒● 就労等については、現計画の中でも大きな柱であり、来年度の自立支援協議会では、就労をテーマに協議を行うことなどを検討させて頂き、課題等を情報共有しながら協議できればと考えている。 ○ 障害児の受け入れ状況のところ、早期療育の必要性は言われているので、分かった時点の療育を増やすという表現や意識づけを素案に入れて頂きたい。 ⇒● 早期発見・早期療育という大事なキーワードでもあるため、文言として素案に盛り込むよう検討したい。		

主な意見等

- 発達障害者等に対する支援の中のピアサポート活動とはどのようなものか。
 - ⇒● ピアサポート活動として、精神障害がある方のピアサポートは、拡充して取り組んでいる。市として前向きに取り組んでいるものをカウントしつつ、さらに発達障害の方も含めて、対象を拡大しながら取組みを進めていくイメージと考えている。
 - ペアレントプログラムやペアレントトレーニング等の受講者数については、市が実施している事業の数値が計上されているが、地域の事業所等とコラボして取り組んでいくことはあるか。
 - ⇒● 関係課等と連携しながら、指導者的な立場な方々を主に少しでも増やしていきたいと考えている。
- 2 (3) パブリックコメントの実施について
- 公表場所について、病院で初めて障害等の診断を受けることもあるので、様々な病院への設置や広報についても検討して頂きたい。
 - ⇒● ご意見を参考に、精神科等の医療機関にも配置・掲示できればと考えている。
 - 基幹相談支援センターの職員配置などについて、パブリックコメントで意見が出てきたら議論ができるものなのか。
 - ⇒● 基幹相談支援センターの運営方法などについては、同センターに設置している運営協議会において議論をしていくことになると考えている。